

BMW ワールドの総合的な体験 目次



1. BMW ワールド	
1.1 BMW ワールドの総合的な体験	2
1.2 BMW ワールド、ミュンヘンにおける BMW の伝統と未来	4
2. BMW ミュージアム	
2.1 BMW ミュージアム・ミュンヘン 新次元の革新的な体験	6
2.2 BMW ミュージアム・ミュンヘン 歴史、継続、未来	9
3. BMW 工場	
3.1 BMW ミュンヘン工場 最先端の自動車生産を知る	10
3.2 BMW ミュンヘン工場 最高の信頼性とテクノロジー	13

1. BMW ワールド

1.1 BMW ワールドの総合的な体験



2007 年 10 月 20 日の BMW ワールドのオープンによって、BMW はミュンヘンに新たなマイルストーンを刻み、同時に対話と忘れられない瞬間のための場所を創造します。

本格的な多機能ビルである BMW ワールドは、見学者、近隣の人々、そしてお客様に、総合的な体験と出会いの場を提供します。BMW は 1922 年以来、ミュンヘン北部にその生産施設と本拠を構えています。そして 2007 年 10 月 20 日以降、世界中からの見学者は、BMW の最新のトレンドや展示会、技術的特徴、デザインの特徴、さらに BMW ワールドで新しいクルマを受け取ることのできる幸運なお客様のわくわくする興奮に至るまで、BMW の世界をさらに鮮烈な体験として愉しむことができるようになります。

BMW ワールドの建物や設備は、企業やブランド、製品と、周りの世界との重要なインターフェースなのです。これはまさに過去、現在、そして未来のすべてを体験することができる唯一の場所なのです。

BMW 工場、BMW ミュージアムと組み合わされた BMW ワールドは、BMW を総合的に体験するというプロセス全体のなかのひとつの要素になっています。特に BMW の本拠地であるミュンヘンの全ての重要なエリアや施設とともに、未来の建築を志向するこのユニークなビル、およびその隣接地、さらに BMW ミュージアムを訪れたり、場合によってはガイドつきの工場体験ツアーに参加したりすることにより、そのすべてを体験できる場所になっています。

この総合的な展望が、ミュンヘンにおける信頼性と持続性の精神、BMW の歴史、そして BMW によって利用される最先端の生産施設やテクノロジーを支えています。BMW ワールドは、BMW グループの社会的な取り組み、責任感、そして私たちが生活している世界に対する明確な誓いの集大成でもあるのです。

BMW ワールド BMW であることの芸術

その進歩的な建築を通じて、BMW ワールドはミュンヘンのまた新しいマイルストーンとなります。最も特筆すべきハイライトは、もちろんオーナーのための非常に個性的な車両を引き渡すことです。BMW は、毎年約 4 万 5 千台の新車を、世界中から訪れるオーナーにここミュンヘンで引き渡し、およそ 85 万人もの見学者がこの BMW の施設を訪れて愉しんでいただきます。

全てのクルマやモーターサイクルのモデル・ラインナップの特別な発表会は別として、マルチメディアのショーや展示会によって BMW の研究開発、デザイン、生産などへの取り組みをわかりやすく提示し、BMW ブランドや BMW という企業を、あらゆる視点から体験していただく機会を設けます。

さらに BMW ワールドは、あらゆる種類の最先端テクノロジーを備えた独自のイベント・フォーラムを特色としています。ここではコンサート、展示会、会議、さらに歓迎会やセミナーなども行われます。

BMW ワールドには、豊富な種類のスナックや食事サービスを提供するレストランが 3 つ以上あり、各種のショップとともにあらゆる要求にお応えします。

ジュニア・キャンパスは、青少年の研究による最新の科学的発見をベースにした特別な出会いの場であり、7 歳から 13 歳までの子供や 2 年生から 7 年生の学生達に理想的な場所を提供します。ここでは子供達や若者達が、「あらゆる感覚を駆使したモビリティ」を遊び感覚で発見することができます。

BMW ミュージアムで歴史を体験

毎年平均 20 万人の見学者が訪れる BMW ミュージアムは、1973 年に BMW ビルの隣に建てられました。

新しい BMW ミュージアムが 2008 年春にオープンする予定で、以前の展示エリアの 5 倍のスペースを提供します。そのコンセプトは、BMW ブランドのダイナミズム、スポーツ性、情熱が生みだすスリリングな魅力に重点を置いています。100 点以上のオリジナルの展示品、新しいプレゼンテーション・テクノロジー、長期展示や絶えず変更される展示、さらに新しいメディアなどによって、現代の世界、交通の歴史、産業、社会、芸術、文化との直接のつながりを創造します。

ミュージアムを抜ける中央の通路は見学者を時間と空間の世界に誘い、さまざまな最優先課題や数々のハイライトを提示します。さらに重要な点として、多くの異なる観点、意外な洞察や展望、さらにさまざまな事項に焦点を当てた演出が、このミュージアムでのドラマチックな体験をもたらします。

BMW 工場、情熱とテクノロジー

BMW ミュンヘン工場は BMW グループの最初の工場であり、もっとも高いレベルのエンジニアリングと革新性と、ブランドに対する純粋な情熱が融合しています。BMW グループのグローバル生産ネットワークの一端を担う BMW ミュンヘン工場は、1 日に 800 台以上の BMW 3 シリーズ (ツーリング / セダン) と 1,250 基以上のエンジン (直列 6 気筒、8 気筒のガソリン / ディーゼル・エンジン、M3、M5、M6 用高性能 M エンジン、12 気筒エンジン) を生産しています。

BMW ミュンヘン工場では、50 ケ国以上から約 9 千人の従業員が従事し、そのうち約 700 人が実習生です。毎年約 3 万人が BMW ミュンヘン工場を見学に訪れており、ユニークなガイド・ツアーによって、他の工場や地域でも同様に取り組んでいる BMW の活動について理解する機会を提供しています。今後は、プロダクション・マイル (生産工程) や BMW ワールドを含む新しい見学者用ツアーを通じて、この工場は以前の 5 倍もの見学者をお迎えすることができるようになります。

1.2 BMW ワールド ミュンヘンにおける BMW の伝統と未来

ミュンヘンにおける BMW の歴史は、継続性、柔軟性、さらに革新性の物語です。過去 90 年間にわたって粘り強く続けてきた進化の過程の中で、BMW は当初の Bayerische Flugzeugwerke GmbH (バイエルン航空機会社) に始まり、高級モーターサイクルの生産を経て、国際的に最も名高いプレミアム自動車メーカーの 1 つにまで成長しました。

このサクセス・ストーリーは、1917 年にミュンヘンで BMW GmbH が設立されたときにその基礎を置いています。そして今日まで、BMW はミュンヘンでの生産をこの街の中心で継続し、常に見学者、近隣の住民、顧客に公開しています。

BMW ミュージアムと BMW の最初の工場であるミュンヘン工場のツアーを含め、10 月 20 日にオープンした BMW ワールドは、BMW の世界を総合的に知る機会を提供しています。BMW グループ本部の周りにあるこれら 3 つの施設がその力を結集して、BMW をトータルに体験できる環境を形成しています。この場所だからこそ、企業、ブランド、製品に関する過去、現在、未来を網羅する凝縮された正真正銘の体験ができるのです。

「産業立地の中で激しい競争を繰り広げる今日、このように大規模で、躍動的に成長を遂げ、とりわけ世界で精力的に活動している企業が、そのルーツを都市の中に展開していること自体、決して当たり前のことではないのです。ですから BMW ワールドは、その外観や建築物によってミュンヘンの価値を高めているだけでなく、BMW が再びその故郷に対して明確な誓いを立てる非常に重要なプロジェクトなのです。」ミュンヘン市長のクリスティアン・ウーデ氏は、最新の BMW ビルについて、このようにコメントしています。

ビルディング、ミュージアム、工場：ミュンヘンの建築の歴史

BMW ワールドは、BMW が 30 年以上にわたって建築における基準を確立してきた建築物のなかで最先端のものです。その特徴的な「お椀」のような形の BMW ミュージアムの他に、1970 年代初めにその魅力的なテント型ルーフを持つオリンピック・スタジアムと同時に建設され、すぐに「フォー・シリンダー・ビル」と名付けられた BMW ビルは、建設当初からダイナミズムと未来をあらわすシンボルとして、そして技術的進歩の明確な表現として、広く一般に知られています。

今日 BMW グループの本社となっている BMW ビルディングと BMW ミュージアムは、建築家カール・シュヴァンツァー教授によって設計・建設が行われ、いすれも 1973 年 4 月 18 日にオープンしました。

グループ本部と BMW ミュージアムは、1999 年以来国定史跡に指定され、長い間ミュンヘン市の特徴的なランドマークとして広く知れ渡っています。

BMW グループは、国際的に著名な建築家ヴィルフ D. プリックス教授の設計による BMW ワールドを建設することで、建築、テクノロジー、デザインやイノベーションに興味を持ってここバイアリア州の州都を訪れる人のために、都市型建築やコスモポリタンな興味を満たす、もう1つのハイライトを提供します。

BMW ワールドのオープンによって BMW は未来を提示し、この超現代的な多機能ビルは、とりわけ最先端技術による展示と BMW プラントを組み合わせることで世界中からの見学者にわくわくする興奮をもたらします。ミュンヘン市長のウーデ氏は次のように述べています。「このようなイベントのための多機能プラットフォームが提供するさまざまな体験は、BMW ワールドにたくさんの耳目を集めます。プラントを熱狂的に愛する方々のみならず、文化を愛する方々も、ミュンヘンの BMW ワールドで彼らが望む全てのものを見つけることができます。」

2. BMW ミュージアム

2.1 BMW ミュージアム・ミュンヘン 新次元の革新的な体験



2008 年春に BMW ミュージアムが再びその門を開けるとき、見学者はその空間および公開される展示の双方で、新次元の体験をすることができます。

国際的にも有名で、広く一般に知られている BMW ミュージアムでは 2004 年以来、徹底した改修と拡張が行われています。革新的な体験学習やプレゼンテーション・スタイルを導入してコンセプト全体を強化し、博物館の分野におけるまったく新しい体験を提供します。

新しいコンセプトと 5 倍に拡張された 5 千平方メートルの展示エリアによって、BMW ミュージアムはデザイン、エンジン製造、洗練性、革新性といった BMW の能力を、明確に強調しつゝそれを際立たせます。プロジェクト・マネージャーのラルフ・ローデペーター博士は、次のように語っています。「ミュージアムの再建と拡張によって、私たちは世界中から訪れる見学者にわくわくするような体験をもたらす未来の博物館を創ろうとしています。BMW ミュージアムは、建物の建築様式や独自の構成による展示およびテーマを通じて、BMW の歴史を生き生きと、身近に感じることのできる環境を提供します。」

ミュージアム内では、各種の自動車、テーマ別展示、建築、デザイン、メディア・コンセプトを結集して、他に類のないブランド体験や、前例のない組み合わせによる過去、現在、未来を提示します。

テーマ別展示は、企業としての BMW の歴史、ブランドや製品の歴史などで構成され、これら全てがデザイン、テクノロジー、モータースポーツの分野における幅広い発展を物語ります。

BMW ミュージアムの新しいコンセプトは、建築家、シュトゥットガルトのアトリエ・ブルックナーによる遠近画、そしてベルリンのメディア・デザイナー ART + COM によって創り上げられています。

深い効果を生む平坦な建物

ミュージアムのお椀型の建物の横にある平屋建ての建物は、中に何もなく以前は会議室、軽食サービス、地下駐車場であったこのエリアは、オリジナルの建物の地下深くにいくつかのレベルを設けた新たな空間を提供しています。ここでは過去と未来の組み合わせが展示物や建築物にも反映され、ミュージアムのお椀型ビルと平坦な建物の双方に振り分けられています。

見学者は、卓越した BMW の航空機エンジン、モーター・サイクル、自動車を通してそのすばらしさを印象付けられながら、ブランドの多様性、継続性、革新力などについての包括的な見識を得ることができます。

現在までに毎年平均 20 万人の見学者が BMW ミュージアムを訪れており、2008 春の再オープン後はその 2 倍の来場者を見込んでいます。

世界中から訪れる来場者は、新しい「ミュージアム・ロード」の長期展示物から一時的な展示物まで、26 種類の展示や特定のテーマを閲覧しながら、さまざまに変化する施設内を歩いていくことで、ブランドに関連する鮮烈な体験を得ることができます。

未来のミュージアムという新しいコンセプト

新しいミュージアムのコンセプトの絶対的な目玉は、もちろん BMW ブランドの優れた能力です。実際にこの新しいミュージアムは、ブランドの真のイメージを伝える役割を担っており、来場者は BMW の革新性、パワー、ダイナミズムというキャラクターについて、さまざまな方法で精通するようになります。

特に 100 以上にのぼるオリジナルの展示品を新しいプレゼンテーション方法で強調するように工夫されていて、同時にこのビルディングによる新しい建築様式も強調しています。

ミュージアムに通じる中央の「道」は、都会的な環境で来場者を空間と時間の世界に誘い、さまざまな展示や各種テーマに関するプレゼンテーションや、BMW ブランドの個々の解説を提示しています。

中央の「道」に沿ったダイナミックな傾斜路システムと 7 つのガラス展示による「ハウス」がエリア全体を構築し、中央の待ち合い場所として利用されます。

これらの建物には、正真正銘の総合的体験を実現するため、BMW の歴史から取り出したさまざまなテーマやハイライト、そして過去、現在、未来にわたる多様な BMW 製品が適切なスペースに配置されています。

長期展示と入れ替え制の展示を提供する BMW ミュージアムは、世界中からの見学者にブランドの歴史を体験してもらい、理解してもらうための適切なスペースであるばかりでなく、BMW の成功、数々の偉業、そして継続的な発展に関する情報の概要も提供しています。

透明で頭上に高さ 13 メートルもの空間を持つ平屋建てのビルは、あらゆる種類の長期展示に理想的な施設であり、新たに設計され、改修されたミュージアムのお椀型のビルは、全て入れ替え制の展示や各種文化イベントのために理想的な会場です。

BMW ミュージアムの開館時間

2008 年春の BMW ミュージアムのオープンに先立って、2007 年 12 月までの期間、オリンピック・タワーで BMW ミュージアム展示会を開催します。ミュージアム展示会は、BMW ビルディングから徒歩で数メートルの場所にある、スピリドン・ルイス・リンク (Spiridon Louis Ring) のオリンピック・タワーで行われます。

開館時間： 10:00 ~ 20:00、毎日

入場料： 大人 2.00 ヨーロ

6 歳以上の子供、学生、5 人以上の団体 :1.00 ヨーロ

BMW ミュージアム展示会のガイド・ツアーは人数制限がありますが、事前予約によって利用することができます (最大 15 名)。

ご予約は、+49/89/382 25652 にご連絡いただぐか、または
インターネットで www.bmw-museum.com にアクセスしてください。

2.2 BMW ミュージアム・ミュンヘン 歴史、継続、未来

現在、全面的な改修、化粧直し、拡張工事を行っている BMW ミュージアムは、すでに 30 年以上の歴史を誇っています。

ここはドイツ最古の自動車博物館の 1 つであるだけでなく BMW の歴史においても重要な一部となっています。『ディッシュ』と呼ばれる躍動感あふれる建築と、一般に広く知れ渡り世界でも高く評価されているミュージアムのレイアウト。さらに BMW やその製品の全てに関するオリジナルの展示品を通じて、BMW ミュージアムは世界中から訪れる見学者にわくわくする体験をもたらし、現在ミュンヘンで最も人気のある観光名所の 1 つとそて、誰もが訪れるべき場所となっています。

BMW ミュージアムの成功への道は、歴史的な自動車、モーターサイクル、航空機エンジン、さらにテクノロジーや未来のデザインに関する展示などを通じて、1973 年以来一貫して歩み続けてきました。

ミュンヘンをベースとする BMW ミュージアムの本拠

BMW の歴史は 1920 年代にミュンヘンで始まり、現在に至るまで続いています。BMW のこの地における継続性は、ミュージアムでも表現されています。ウィーンの建築家、カール・シュヴァンツァー教授によって設計・建設された BMW ミュージアムは、1973 年以来 BMW ビルのすぐ隣に位置しています。

BMW ミュージアムの外観と内容は、未来の移動手段に対するビジョン、限界、そして実現の機会のためのプラットフォームを提供しています。ミュージアムのコンセプトの成功には、このミュージアムが BMW の歴史だけでなく、とりわけ他の課題やハイライトにも重点を置いていることも貢献しています。

ミュージアムの来場者は、前世紀初頭から 21 世紀の最新の成果に至るまで、5 世代の視点に分けて輸送技術の展望を体験し、学習することができます。BMW ミュージアムは、テクノロジーや技術的成果を通じて、デザイン、作品、社会、個人の移動手段のためのさまざまな方法に関する発展を実証し、展示しています。

このように優れたプレゼンテーション方法の好例として、1991 年から 2004 年まで長期間にわたって開催された、『時間の地平線 (Horizons in Time)』展があります。

2008 年春に再オープン予定の BMW ミュージアムは、BMW の業務や成功の歴史を紡ぎ続けることでしょう。まったく新しい視点と新たに利用できるスペースによるユニークな新コンセプトにより、このミュージアムは世界中の経験豊富な見学者に対して、企業、ブランド、そして製品の歴史を知るためのユニークな環境を提供します。さらに詳しい情報については、インターネットの www.bmw-museum.com をご覧ください。

3. BMW 工場

3.1 BMW ミュンヘン工場

最先端の自動車生産を知る



BMW の国際的な生産ネットワークは、とりわけ優れた柔軟性と能力によって他を凌駕しています。世界中の全ての BMW 工場は、品質、安全性、資源の有効利用について、同じ手順を規定しています。そして世界中のどの工場も、革新的な生産テクノロジーや高水準の能力を誇り、2 万個にものぼる部品やコンポーネントによる「BMW 製」のプレミアム・カーを生産しています。BMW の工場では、全ての能力を結集した情熱によって、最先端技術による精密な製品へと昇華するのです。

BMW ミュンヘン工場は、BMW グループの故郷といえる工場です。ミュンヘンの北部に位置するこの場所には、すぐ隣に BMW グループ本部、BMW ミュージアム、BMW ワールドがあります。この工場には、50ヶ国以上から来た約 9 千人の従業員が作業に従事し、そのうちの約 700 人は実習生です。

BMW グループの世界規模の生産ネットワークの一部として、BMW ミュンヘン工場は一日に約 1,250 基のエンジンと 800 台以上の自動車を生産しています。実際にここでは、何十年にもわたって 5 世代の 3 シリーズを生産しています。

BMW グループの国際的な生産施設を代表し、BMW ワールドのすぐ隣にある BMW ミュンヘン工場は、見学者に対して自動車生産における最先端技術を直接知るための機会を提供しています。

プロダクション・マイル 新しい BMW 工場の生産工程ツアー

ミュンヘンにある BMW の最初の工場を見学するツアーは、自動車生産のあらゆる分野を知る機会を提供します。ツアーを率いるエキスパートは、見学者の特定のリクエストや質問にも対応します。

プロダクション・マイルと呼ばれる生産工程は、ミュンヘンのヘルマン + エットル建築事務所によってデザインされました。

BMW ワールドのオープンによって、見学者（その多くは新車を受け取る顧客）はプレス加工部門から組立工程まで、あらゆる分野にまたがる合計 12 の生産施設を通り、新しいプロダクション・マイルを体験します。

新しい BMW プロダクション・マイルの特徴

BMW 工場ツアーのコンセプトとレポートは、特定の内容に関連する規則や特性に従い、プレス加工部門、車体部門、塗装部門、エンジン製造、内装品やシートの製造、組立など、BMW ミュンヘン工場における自動車生産の全ての工程を見学者が詳しく知ることができます。

プレス加工部門

プレス加工部門は、あらゆるグレードや水準に分かれた約 600 トンの鋼板から、一日に 13 万個以上のボディ部品を生産しています。ここでは、技量、経験、作業者の柔軟性によって、最先端技術による生産を実現しています。

プレス加工部門は車体部門とともに、最も現代的で先進のデザインやコンセプトを実践し、同時にここで組み立てるコンポーネントを通じて最適な走行性能や衝突特性を実現しています。全ての BMW 車両のボディは、最先端の新しいチール、軽合金、アルミニウムで作られた何百ものパーツやコンポーネントで構成され、モデルによってはさらに合成素材やカーボン・ファイバーなども使用されています。

車体部門

車体部門では、さまざまなパーツやコンポーネントが、スポット溶接、保護ガス溶接またはレーザー溶接など、それぞれの特定の部位に最適な技術によって接合されています。この非常に複雑な生産工程をロボットが最大限の精密性で実施し、いくつもの溶接スポットを最大 10 分の 1 ミリメートルという極限の精度で作業しています。

車体部門では、さまざまな溶接技術だけでなく各種接着剤による接着など、他の接合方法や工程も利用しています。これらによって車両を密閉する役割を果たし、その走行挙動を最適化させ、衝突の際にはエネルギーを最大限に吸収させています。

塗装部門

塗装部門では、すばらしいカラーや信頼性の高い防錆処理、防食処理や美しい外観など、全てのモデルに最終的な光沢や輝きを与えます。

塗装を行う前に、車両ボディはいくつかの段階や工程による事前処理を行います。例えば浸漬槽は、温間亜鉛メッキ加工されたボディにリン酸亜鉛層を施す役目を果たし、滑らかでムラのないベースコートを形成し、ボディを腐食から守ります。

実際の塗装工程では、次の陰極浸漬槽を通る工程で最初の層が形成されます。BMW は、水性塗料を使用したり、最先端の方式を採用したりすることによって、最先端の環境にやさしい塗装を行っています。スプレー・ロボットによって、塗料が滑らかにまんべんなく全ての表面に塗布されます。

エンジン製造

BMW は現在、ミュンヘン工場だけでも一年に約 30 万基のエンジンを生産しています。BMW のパワー・ユニットが提供する滑らかさと駆けぬける歓びは、最先端の最も厳格な生産技術によってもたらされています。

全ての BMW 製エンジンは、ミュンヘンの北東約 60 キロにあるランツフートの BMW 鋳造工場で生産される、千分の一ミリメートル単位の精度で加工されたパーツやコンポーネントを使用しています。

各エンジンは、車両に搭載する前に、燃料をまったく使わずに非常に短時間に全機能の完全な検証を行う冷間テストなど、特定のテストや点検手順を通ります。その後エンジンが完成すると、現在の生産要件に従って、正しい順序でそれぞれの車両を生産する工場の組立部門に送られます。

車両組立

顧客一人一人の希望や好みが異なるため、全ての BMW も異なっています。顧客は自分だけのドリーム・カーがどのようなものであるべきかを伝えることができます。

組立工程では、組立開始の 6 日前までに顧客が自分の個人的な注文を変更することを可能にしています。そのため BMW は、顧客の個人的な希望や好みに応じて正確に指定された日時に組立作業を行い、社内のサプライヤーと社外の提携先に対してどのパートが必要かを連絡します。

組立部門がセントラル・ボディ・ラックから適切なボディを取り出して車体番号を刻印したときから、その車両は特定の顧客に割り当てられます。その後旋回式のコンベヤー・ベルトに乗ってボディを移動したり旋回させたりすることによって、ラインの従業員は人間工学的に最適な位置で車両のボディ下の作業を行うことができます。燃料タンク、燃料ライン、ブレーキ・ラインは、この工程で取り付けられます。

生産の最終段階は、最終組立工程であるドライブトレーンをボディに合体する「ウェディング」で始まります。この工程は、車両のいくつかのシステムやコンポーネントを通常の走行状況でもう一度テストするために、ダイナモーター上の試験で終了します。

BMW 工場ツアーについての情報

BMW ミュンヘン工場は、大人が同伴していれば 4 歳の子供から、全ての見学者に一般公開されています。

ここでは、見学者の安全性とそれぞれの興味に特化してガイドすることを最優先にしています。

個人および 7 人から 30 人までの団体の見学者は、BMW 工場のホームページ (www.bmw-werk-muenchen.de) で工場ツアーを予約することができます。最大 6 名の少人数のグループは、BMW ワールド・インフォ・サービス (電話 :+49/180 2 11 88 22) で予約することができます。また、BMW ワールドで新車を受け取るお客様は、当日の予定に工場ツアーを組み込むことができます。

工場ツアーの参加を希望する報道関係者は、BMW ミュンヘン工場の広報部門にご連絡ください。

電話 :+49/89/382 25885

3.2 BMW ミュンヘン工場 最高の信頼性とテクノロジー

BMWの生産の起源は、1913年まで遡ることができます。そして1922以来、BMWの中心的な工場は、ミュンヘン市北部のミレベリツホーフェンにあります。

現在のオリンピック・パークの横、グループ本部のすぐ近くに位置するBMWミュンヘン工場は、街の中心部にあります。

当初ミュンヘン工場は航空機用エンジンとモーターサイクルを生産しており、BMWの10万台目のモーターサイクルは、1938年にここの生産ラインを後にしていました。

ミュンヘンでの自動車生産は、1951年のBMW 501の導入によって始まりました。そのわずか4年後には最初のBMWイセッタが生産され、ミュンヘンでの新たな雇用を確保しました。BMWの次のモデルであるBMW 1500は、1962年半ばに生産が開始され、この極めてスポーティな4ドア・ミドルレンジ・サルーンは、BMWの市場における成功の基礎となりました。

60年代後半になると、生産の一部はミレベリツホーフェンから約110キロメートル離れたミュンヘン北部のディンゴルフィンに移管し、BMWミュンヘン工場の負担を減らすため、モーターサイクルの生産は1969年にベルリンに移りました。

今日までBMWブランドで最も成功を収めているモデル・シリーズであるBMW 3シリーズは、1975年にミュンヘン工場で生産が開始され、車体部門での世界初の完全自動化によるアンダーボディ製造など、ミレベリツホーフェン工場に初めていくつかの革新的な制御および生産技術をもたらしました。

1980年代は、スタイラー、レーゲンスブルクおよびヴァッカースドルフの各工場を新たに操業するなど、BMWの生産ネットワークの継続的な発展・拡大が特徴です。鋳造工場がランツフートに移り、ミュンヘン北部にBMWの研究・開発センターが完成した後、ミュンヘン工場は80年代半ばから自動車とエンジンを本格的に生産するようになりました。

90年代に取られた基本的な施策の一環として、BMWグループの全ての高性能大排気量エンジンは、これらの技術を結集した中核工場としてミュンヘン工場で生産されるようになりました。

BMWとその近隣の企業は、町の中心部の環境保全の権利確立に多大な努力を払いました。このためにBMWは、1994年に近隣フォーラムを設立し、BMWミュンヘン工場は2003年にミュンヘン市環境賞を受賞しました。さらに同工場は、2001年と2003年にJ.D.Powerによって「ヨーロッパ最高の自動車生産工場」と認定され、工場賞の金賞を受賞しました。

ミュンヘンの立地環境 革新性、創造性、柔軟性

プレス加工部門、車体部門、塗装部門、車両組立、さらにエンジン製造や内装の生産など、自動車生産に関する全てのテクノロジーが 400 万平方メートルの敷地を持つミュンヘン工場に収容されています。現行 BMW 3 シリーズ・モデルや将来のモデル、さらに次世代エンジンの生産のための投資は、また新しい生産工場を作るほどの投資額に匹敵します。BMW 3 シリーズの 5 世代全てが、この伝統を誇る BMW 工場で生産され、現在約 9 千人の従業員が働いています。

世界中で品質を保証

BMW グループの生産ネットワークは、BMW の車両とモーターサイクルのための 6 つの生産工場で構成され、4 大陸に合計 23 の生産施設が張り巡らされています。エンジン工場は、さまざまなタイプのエンジンを自動車生産工場に供給し、さらに生産ネットワークはコンポーネント工場によって補完されています。

大きな成長の可能性があるいくつかの市場における高い関税障壁を避けるため、特定の市場には完全現地組立部品 (CKD) による BMW 組立工場もあります。これらの工場では、最大限の効率性を得るために、輸入したパーツのキットを現地産業が供給するコンポーネントと合わせて組み立てる作業を行っています。